

第4回 豊田市教育行政計画審議会 次第

日時 令和3年6月3日(木) 午後1時30分から3時30分まで

場所 オンライン会議

	頁
1 教育部長あいさつ	-
2 会長あいさつ	-
3 新任委員の自己紹介(3名)	-
4 会議録署名者の指名	-
5 報告事項	
(1) (仮) 第4次教育行政計画に関するアンケート(Eモニター)結果概要	1
(2) 令和3年度計画策定スケジュールについて	5
(3) パブリックコメントの実施概要について	6
6 議 題	
(1) (仮) 第4次教育行政計画の素案について	【別冊】
・状態指標、成果指標の考え方	7
・重点施策の状態指標、重点事業の成果指標・実施内容等	【別冊】
・基本施策のめざす姿、状態指標、施策の柱、主な事業	【別冊】
【協議ポイント】	
◎重点施策の状態指標、重点事業の成果指標等の妥当性について	
◎基本施策の状態指標の妥当性について	
(2) (仮) 第4次教育行政計画のキーワードについて	
・キーワード案の検討	8
(3) 次期計画の名称案について	
・名称案の検討	9
7 その他	
今後の審議会日程(予定)	
第5回 令和3年 9月24日(金) 午後1時30分～(2時間程度)	
答 申 令和3年10月 8日(金) 午後1時30分～(1時間程度)	※会長のみ

〔仮〕第4次教育行政計画に関するアンケート（Eモニター）結果概要

<回答画面>



様式管理

プレビュー 【テスト】第24回Eモニターアンケート 教育についての次期計画「〔仮〕第4次豊田市教育行政計画」に関するアンケート

【テスト】第24回Eモニターアンケート 教育についての次期計画「〔仮〕第4次豊田市教育行政計画」に関するアンケート

※印があるものは必須です。

▲印は選択肢の結果によって入力条件が変わります。

■ 概要説明

豊田市教育委員会では、「第3次豊田市教育行政計画」に基づき、「地域ぐるみで学び合い」をキーワードに教育行政を推進しています。同計画が令和3年度末で終了することから、令和4年度以降を計画期間とする「〔仮〕第4次豊田市教育行政計画」の策定を進めています。

今年度は「基本理念～多様な市民一人ひとりが自ら学び、地域と共に育ち合う教育の実現～」や「めざす人物像」、「重点施策」に基づき、「重点事業」の内容を検討しています。皆様のご意見を参考にさせていただきたいため、アンケートへのご協力をお願いします。

以下のリンク先資料を参照のうえ、ご回答ください。

【計画の全体像について】

<http://www.city.toyota.aichi.jp/>

【重点事業について】

<http://www.city.toyota.aichi.jp/>

「めざす人物像」を実現するために、計画期間内に重点的に取り組む事業として以下の事業を検討しています。

事業1：「主体的・対話的で深い学び」推進事業

事業2：ICT活用・整備推進事業

事業3：子どもの読書活動推進事業

事業4：きめ細かな教育推進事業

事業5：いじめ・不登校対策事業

事業6：特別支援教育の推進事業

事業7：外国人児童生徒等教育事業

事業8：学校施設長寿命化改修事業

事業9：〔仮〕WE LOVEとよたっ子推進事業

事業10：地域学校共働本部／コミュニティ・スクール推進事業

事業11：地域との連携等による教職員多忙化解消推進事業

事業12：ものづくり教育プログラム事業

※事業9・事業10については、
2月3日時点の事業名となっています。

Eモニター登録時の氏名を記入してください。※

氏: 名:

Q1 それぞれの重点事業について、ご意見をお聞かせください。※

・事業番号を明記のうえ、ご回答ください
・多くても3事業程度までご意見いただければ結構です

<実施期間・回答者数等>

- ・実施期間：令和3年2月18日（木）～28日（日）
- ・回答者数：150人
- ・登録者数：233人 → 回答率：64.4%

<重点事業に対する意見>

事業名	担当課	意見件数
「主体的・対話的で深い学び」推進事業	学校教育課	17
ICT活用・整備推進事業	学校教育課	43
子どもの読書活動推進事業	図書館管理課	61
きめ細かな教育推進事業	学校教育課	21
いじめ・不登校対策事業	学校教育課	39
特別支援教育の推進事業	学校教育課	9
外国人児童生徒等教育事業	学校教育課	10
学校施設長寿命化改修事業	学校づくり推進課	15
WE LOVE とよた教育プログラム推進事業	学校教育課	12
コミュニティ・スクール/地域学校共働本部推進事業	学校教育課	11
地域との連携等による教職員多忙化解消推進事業	学校教育課	24
ものづくり教育プログラム事業	市民活躍支援課	14
その他（事業全般等）	—	9
合計	—	285

<主な意見> ※一部改変

● 「主体的・対話的で深い学び」推進事業

- ・各学校で工夫、改善した事を他の学校でも共有できるように、学校同士で定期的に情報交換したらいいと思います。
- ・昨今の若者は受動的な姿勢が目立ちます。もっと主体的に考え、行動できるようになる事が社会的に求められると思います。また、他者と対話してコミュニケーションする事で理解し会える関係性が築けるため、重要だと思います。

● ICT活用・整備推進事業

- ・市内の小中学校にタブレットが1人1台導入され、子ども達は授業の幅が広がり楽しく学んでいます。今後はコンテンツの強化や国内の様々な施設と繋ぎリモートで学ぶなど、学びの広がりを期待しています。
- ・外国に比べ特に日本が遅れていると感じており、優秀な人材を確保するためにも、小学校からICT活用による教育が大いに必要と思います。
- ・「ICT機器を活用した『主体的・対話的で深い学び』を推進するため、教員のICT活用指導力の向上や学習スタイルの構築及びICT環境の整備を実施します」との説明ですが、ICT活用と子どもの主体性の教育が結びつきません。ICTの活用は、逆に主体性が鈍る可能性もある様に思われます。慎重な対応に期待します。

● 子どもの読書活動推進事業

- ・小さい頃から絵本に親しみ、小学生までに読書の楽しさを学ぶことが、その後の集中力や学習能力に直結することを実感しています。これからの子ども達は生まれた時からデジタル機器に囲まれているからこそ、紙の本に触れる機会を取って持ち続けて欲しいです。
- ・読書は人間性を豊かにするためにも必要なものです。他人を思いやる心、他者をも認める心を持つためにも子どもの頃からの読書習慣は、ぜひともつけるべきでしょう。
- ・とてもよい取組だと思う。単に読書が好きということだけでなく、調べ学習に発展させるところは各家庭で取り組むのは難しいので支援が必要と思う。
- ・子どもの読書活動推進というタイトルを見て、直感的に物語に親しむ内容かと思ったが、調べ学習が上手く行えるためということだったので驚いた。課題解決型の読み方と純粹に本を読むことを楽しむのは、違う。目的を達成するためだけの読み方だと、長編小説は読めなくなってしまう。その辺り、分けて指導の時間が必要だと思う。

● きめ細かな教育推進事業

- ・現在の小中学校は1クラスの人数が30人前後と多く、一斉授業では理解できていない生徒がかなり存在し、きめ細かな教育はできていないと思います。もっと少人数学級をどんどん取り入れて欲しいです。
- ・豊田市独自の少人数学級は大変よいが、補助に入る人が誰でもいいわけではない。子どもに寄り添える人選を望みます。

● いじめ・不登校対策事業

- ・不登校になった子どもたちの居場所の選択肢を増やしてほしい。子どもは家庭の他にも居場所が必要だと思う。
- ・ICTを活用して不登校生徒などへの支援があったらいいと思う。どうしても周りとの協調が取れず、いじめにあう可能性の高い子に向いていると思う。そういった子に、ICTについての知識を得てもらい、将来に繋げてもらうといい。
- ・今時のいじめはネット上など、教師や保護者の目の届かないところで行われることが多くなっていると思う。この現状を踏まえた指導ができる人材の育成をして欲しい。また、子どもがSOSを出しやすいように、各学校に相談員が常駐出来ると良いと思う。

● 特別支援教育の推進事業

- ・特別支援教育は、保護者が孤立しがちなので、地区ごとや市内全体で交流できる機会があるといいと思う。担当教員の資質次第で、児童生徒の能力向上に大きな差が出る。塾やスポーツなど課外教育が難しく、市で指導方法の改善や連携を希望します。
- ・教職員だけでは手が足りないのは外から見ても理解できます。サポートに教員免許がない人でもお手伝いできるような形になるといいのではないかと思います。

● 外国人児童生徒等教育事業

- ・外国の言葉のフォローが必要な子は、自動通訳を使ってもよい。
- ・豊田市は外国人が多いため、特に重要だと思います。子どもの両親の日本語があまり上手では無くても、子どもが日本語を話せると両親も地域と関わりやすくなると思います。

● 学校施設長寿命化改修事業

- ・校舎改修や新築は、画一的な校舎ではなく個性的な教室なども作る良い機会だと思います。
- ・構造躯体、仕上げ、設備共、長寿命化にはメンテナンス費用が結構かかるので、維持管理・保全をコンディションベースで効率よく費用対効果のある計画をお願いいたします。
- ・学校の統廃合も含めて考えるべき。
- ・避難所でもあるのでそれを踏まえた設計であるべきだと思います。それ以前に、学びの場であり生活の場なので、よりよい環境を整えてあげたいと思います。

● WE LOVE とよた教育プログラム推進事業

- ・地域と連携していろいろなことを計画して、少しでも子どもたちが参加できる環境を整えて、みんなで参加できればいいと思います。例えば高校生がリードして小学生が参加するとか。
- ・先日、子どもが小学校に消防士さんが来て話をしてくれ、消防車のはしごが伸びるところを見た楽しそうに話していました。実際に見て、触れて、体験して、作ったりした授業が増えるといいなと思います。その為にも、先生方の仕事で省けるところは省いて、授業内容が充実すると思います。

● コミュニティ・スクール／地域学校共働本部推進事業

- ・地域と学校が連携共働し、地域全体で子どもの成長を支えていく組織の活動の推進は非常に良いことだと思います。具体的な計画をオープンにしていきたい。
- ・地域学校共働本部は、一部の地域住民に依存しがちで、在校生の保護者の参加意識が低いと思う。定期的な参加を求めるのではなく、「できるときに、できる人が、できることを」する活動にしてほしい。例えば、環境美化で除草や花壇整備をするときに、その都度募集することや、地域を限定せず、市のホームページで各学校のボランティア活動募集一覧がみられると参加しやすいのではないかな。
- ・知らない人ばかりの地域だと何かあったときに助けを求めたりしにくいいため、地域の人との交流があれば安心して学校に通いやすいため、交流の場があるのはいいことだと思います。

● 地域との連携等による教職員多忙化解消推進事業

- ・教職員多忙化の一つに、ICTの活用が遅れて合理化できていないことが原因であることが多い。現場の人材にICTの専門家を増やし、さらに市の内部にICTを理解して推進する体制が必要だ。例えば、企業ではコロナ禍で、抜本的な働き方変革を迫られた結果、様々な革新的な業務改革が進んでいる。地域の連携だけではなく、ICT活用による教職員多忙化解消を進めてほしい。
- ・部活動で子どもと関わりたい教員もいると思います。物理的な（移動、準備、保護者との連絡など）支援を地域の人ができること、教員の負担が軽くなると考えます。

● ものづくり教育プログラム事業

- ・学校カリキュラムの中で関連付けたものづくりだけではなく、身近にある紙や竹、木を使って楽しんで作れる物を体験すると、面白さが伝わると思う。
- ・ものづくり教育として、創意工夫を意識した子どもたちの作品コンクールを実施するのも良いと思います。

第4次豊田市教育行政計画 策定スケジュール（案）

対象	令和3年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
市民				パブコメ・Eモニター実施 7/1～7/31			パブコメ結果報告 下旬					
議会・庁内		経営戦略会議 5/10	総務部長会議 5/26	大綱最終調整		第3次計画進捗点検評価報告 月上旬		総合教育会議 10/20 月上旬	部長会議 議案説明 ⇒⇒⇒	議案上程 月上旬		図書報告 月上旬
教育委員会	協議会協議 4/28	協議会協議 5/10	協議会協議 5/26	定例会報告④ 6/30		協議会協議 8/25	定例会報告⑤ 9/29	定例会議決 10/20				
審議会			審議会④ 6/3			答申案 9/24	審議会⑤ 9/24	答申 10/8				
推進会議	推進会議⑤ 4/27	⇒⇒⇒ 図書素案各課修正 月上旬～中旬			⇒⇒⇒ Eモニター回答作成 中旬～下旬	⇒⇒⇒ 推進会議⑥ 8/6 中旬～下旬						
広報・PR		広報原稿 中旬	広報校正 月上旬	議員報道発表情報提供 HP掲載依頼 7/1						広報原稿 月上旬	広報校正 月上旬	広報掲載 3/1
委託		図書作成契約 下旬										
点検評価	前年度実績報告依頼 中旬		事業説明会 下旬		評価会議 7/28	定例会議決 8/25						

計
画
図
書
完
成

第3期豊田市教育大綱 及び (仮) 第4次豊田市教育行政計画の パブリックコメントの実施概要

1 パブリックコメント手続の目的

- 意思決定過程における政策等の説明と公表による公正の確保と透明性の向上
- 市の意思決定過程における市民意見の募集による市民参加の推進

2 パブリックコメント概要

(1) 意見募集概要

第3期豊田市教育大綱及び(仮)第4次豊田市教育行政計画を策定するにあたり、その素案を公表し、市民から意見を募集する。

<第3期豊田市教育大綱>

令和3年5月26日に開催された総合教育会議で協議され、確定した素案

<(仮)第4次豊田市教育行政計画>

第4回教育行政計画審議会での審議を踏まえて取りまとめ予定の計画素案

(2) 資料閲覧・意見募集期間

令和3年7月1日(木)～令和3年7月31日(土)

※広報とよた7月1日号に記事掲載予定

(3) 資料閲覧方法

- ・ 市政情報コーナー、各支所・出張所、各交流館、教育政策課の窓口
- ・ 豊田市役所ホームページ

(4) 結果公表時期(予定)

審議会 第5回教育行政計画審議会(次回)

ホームページ 令和3年10月中旬

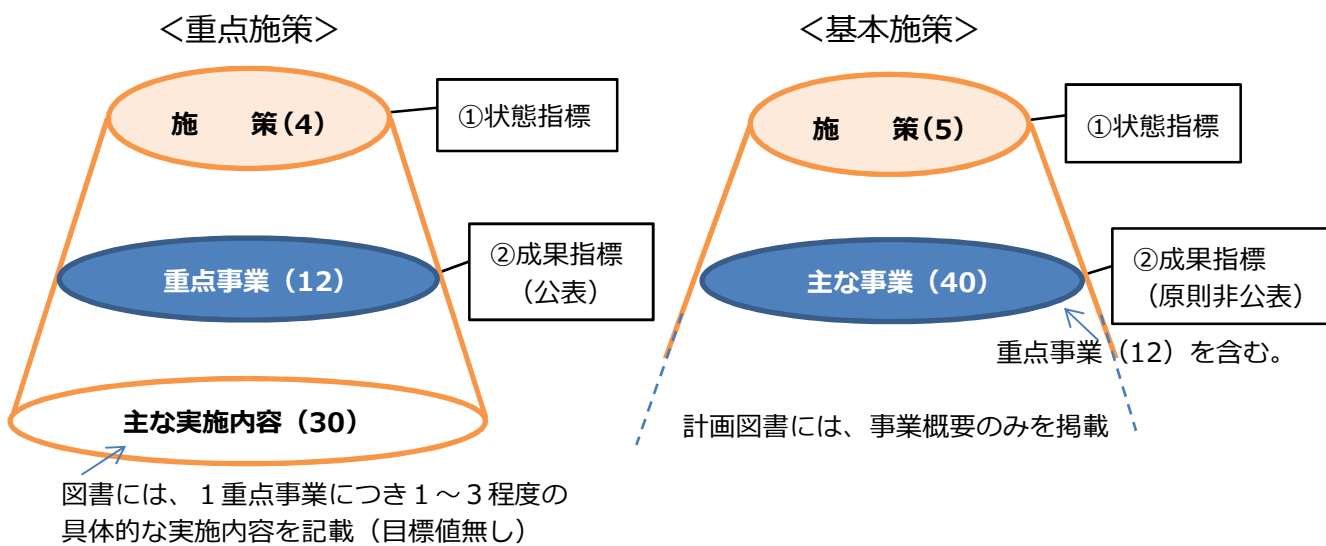
広報とよた 令和4年3月1日号(計画の公表と併せて掲載)

(5) その他

Eモニターへの意見募集アンケートも同時に実施

状態指標、成果指標の考え方

項目・指標	重点施策	基本施策
施策	次期計画策定時（令和6年度）に「めざすべき教育の姿」や「めざす姿」にどれだけ近づいているか、 状態指標 や各事業の成果を踏まえて評価する。	
状態指標		
事業	成果指標 を設定し、事業を着実に推進するため、毎年度進捗管理と評価を行い、公表する。	成果指標 は設定するが、柔軟に事業展開できるよう、計画図書には事業概要のみを掲載する。
成果指標		
実施内容	目標値は設定しないが、取組実績を把握し、成果指標の達成度に貢献しているか、毎年度確認する。	※毎年度、進捗管理は実施。点検・評価の対象事業となった場合は、 成果指標 を公表する。
無し		



- 【指標の例】
- ①**状態指標**（児童生徒や市民の状態を把握する指標）
 - 〇〇と思う児童生徒の割合：70%
 - 〇〇に満足している市民の割合：80%
 - ②**成果指標**（目標を達成できているか確認できる指標）
 - 授業が楽しいと思う児童生徒の割合：70%
 - 時間外在校等時間が月45時間を超えている教職員の割合：0%
- 次期計画策定時

進捗管理・評価		R4	R5	R6	R7
重点施策（4）	状態指標（公表 ^{※1} ）	●	●	●	●
重点事業（12）	成果指標（公表）	●	●	●	●
基本施策（5）	状態指標（公表 ^{※1} ）	●	●	●	●
基本事業（40）	成果指標（公表無し ^{※2} ）	●	●	●	●

※1 指標によっては、毎年度把握できない数値がある。
 ※2 基本事業の成果指標は原則公表しないが、点検・評価の対象事業のみ公表する。

(仮) 第4次教育行政計画のキーワード (案)

- 第3次豊田市教育行政計画では、新学習指導要領の方向性等を踏まえ、重点施策のキーワードを「地域ぐるみで学び合い」として設定しました。
- (仮)第4次豊田市教育行政計画では、国の第3期教育振興基本計画や、中央教育審議会の答申等を踏まえ、新たなキーワードの設定を以下のとおり検討します。

1 方向性

- ① (仮)第4次教育行政計画で重視することを端的に表すもの
- ② 学校教育分野を中心とした掲載内容の変化を示せるもの
- ③ 市民がイメージしやすく、分かりやすいもの

2 関連計画等

<第3期教育振興基本計画(抜粋)>

- ・激動の時代を豊かに生き、**未来を開拓する**多様な人材を育成するためには、誰もが人間ならではの感性や創造性を発揮し、自らの「可能性」を最大化していくこと、そして誰もが身に付けた力を生かしてそれぞれの夢に向かって志を立てて頑張ることができるよう、「**チャンス**」を**最大化**していくことが必要です。

<中央教育審議会の答申“令和の日本型学校教育”の構築を目指して”(抜粋)>

- ・一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、**多様な人々と協働**しながら様々な社会的変化を乗り越え、**豊かな人生を切り拓き**、**持続可能な社会の創り手**となることができるようにすることが必要

<第8次豊田市総合計画 後期実践計画(抜粋)>

- ・「つながりや価値・可能性をつくりだすこと、行動すること」は、知ること、気づくこと、他を認めること、考えること、体験すること、他と共有することなどを通じて形づくられていくもので、そうした過程を総称して「**学び合い**」と表現します。(中略)そこで、前期実践計画に続き、後期実践計画においても、「**学び合い**」を**計画の推進を支える特に重要な視点と位置付け、「学び合い」が活発に展開されるような環境づくりを進めます。**

3 次期計画のキーワード案

- ・『未来を拓く学び合い』
- ・『生きる力を共に育む』
- ・『夢に向かう力を育む』

次期計画の名称（案）

○豊田市では、これまで教育に関する総合的な計画の名称を「教育行政計画」としてきましたが、次期計画の掲載分野の見直しや、他の自治体の状況等を踏まえ、新たな名称を以下のとおり検討します。

1 これまでの経緯

- ・2003年3月 教育分野の総合的な計画として、「豊田市教育行政計画」を策定
- ・2008年3月 「豊田市教育行政計画 改訂版」を策定
- ・2013年3月 「第2次豊田市教育行政計画」を策定
- ・2018年3月 「第3次豊田市教育行政計画」を策定
- ・2020年4月 スポーツ、文化財及び文化芸術の各分野の管理執行権限を教育委員会から市長部局に移管
- ・2020年7月 第1回教育行政計画審議会において、上記の各分野を次期計画の対象外とすることを承認

2 名称検討のポイント

- 学校教育分野を中心とした掲載内容に見直したことにより、名称を変更する
- 国の第3期教育振興基本計画を参酌した上で、次期計画を策定する必要がある

3 名称案

『豊田市教育振興基本計画』

※国や他の中核市の約7割は、計画名称として「教育振興基本計画」を採用